

第25回名城大学技術士会講演会

(協賛：名城大学理工学部後援会)

名城大学技術士会は、下記内容にて講演会を行います。

この講演会は当会の会員だけでなく、学内外の一般の方にもお気軽に参加していただけます。

ご希望の方は、下記問い合わせ・申込先までお申し込み下さい。

日時：令和元年11月5日(火) 18:30~19:30 (受付 18:00~)

場所：名城大学 天白キャンパス 11号館 1階 理工学部第1会議室

テーマ：知っておきたい 認知症のこと ~症状・対策・治療~

講師：名城大学 薬学部薬学科 准教授 間宮 隆吉 氏

参加費：無料

※ご希望の方には、名城大学技術士会 CPD 行事参加票(1.0h)を会場にてお渡しします。



2025年には「日常生活自立度」II以上の認知症高齢者が470万人に達すると推測されています(厚労省)。認知症の現状や研究領域についてお話しし、日常生活をどのように過ごしたらいいか、一緒に考えたいと思います。

<講師略歴>

1972年岐阜県関市生まれ。1995年名城大学薬学部薬学科卒業、1997年岐阜薬科大学大学院修士課程修了、2001年名古屋大学大学院医学系研究科修了、博士(医学)取得。

2001年名城大学薬学部助手、2009年同、助教、2015年同准教授(現在に至る)。

小学生の頃、薬を飲み、“なぜ治るんだろう?”と感じて以来、薬を意識するようになりました。それから約30年、「記憶」のしくみに魅力を感じ、動物の力を借りながら、新しい薬の開発研究に取り組んでいます。

<最近の研究テーマ>

学習記憶のメカニズム解明、PTSDモデル動物の作成、妊娠中の喫煙が胎児の発達に及ぼす影響 等

<専攻分野> 神経精神薬理学、行動薬理学

<主な論文>

Prenatal nicotine exposure decreases the release of dopamine in the medial frontal cortex and induces atomoxetine-responsive neurobehavioral deficits in mice. **Psychopharmacology**. 2017; 234:1853-69.

Temporal association of elevated cholecystokinergic tone and adolescent trauma is critical for posttraumatic stress disorder-like behavior in adult mice. **Proc Natl Acad Sci USA**. 2013; 110:6589-94.

Usp46 is a quantitative trait gene regulating mouse immobile behavior in the tail suspension and forced swimming tests. **Nat Genet**. 2009; 41:688-95.

Neuronal mechanism of nociceptin-induced modulation of learning and memory: involvement of N-methyl-D-aspartate receptors. **Mol Psychiatry**. 2003; 8:752-65.

Facilitation of long-term potentiation and memory in mice lacking nociceptin receptors. **Nature**. 1998; 394:577-81. 等

申込期限：11月1日(金)

◇問い合わせ・申込先：名城大学技術士会 総務広報担当副会長 森富雄

(株)アイエスシー内 TEL 052-882-1201 FAX 052-882-1303

E-mail moritomi@isc-ngo.co.jp

※TEL・FAX・Mailいずれかの方法で、所属(会員・非会員・学内関係者)の区分を明示の上、お申し込み下さい。